

ク型ビジネスの強化を目指した。

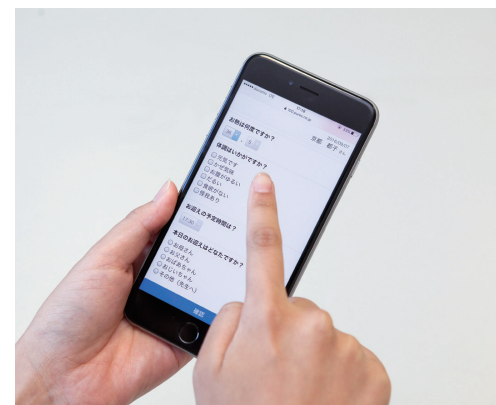
◆**改良でマルチデバイスに対応**

『クラウド型園児管理システム』は既存の『園児管理システム』を応用して開発を行うが、その際にいくつかの課題があった。

既存の『園児管理システム』を利用するにはパソコンと大型のタッチパネルモニターが必要だが、小規模保育園には設置する場所がない。利用環境面でタブレットPCやスマートフォンなどのマルチデバイスに対応できない。そのほかに電子マネーが「Edu」に限定されていることや機能面の特化、低価格化などである。

パソコンのブラウザ上で動くアプリケーションをマルチデバイスのブラウザ上で動作させる時、見づらい、操作しづらいといった問題が生じる。そこで今回の補助事業で最新の開発ツールを導入し、マルチデバイスに対応したシステム改良を行った。その結果、小規模保育園の狭い玄関にタブレットPCを設置し、登園・降園管理が行えるようになった。保護者も携帯電話に加えてスマートフォンが利用できることで、よりコミュニケーションの利便性が向上した。

電子マネーについては、小規模保育園の形態として駅型保育が多いこ



スマートフォンでの操作画面



パソコンからのログイン画面

とから、「Edu」に加え交通系電子マネー「Suica」による決済の対応を実施。この対応を手がけた際、「Woon」にも対応することができ、結果的にさらに利便性の高い決済システムが実現できた。

機能面では一時預かりサービス機能を強化し、時間別サービス料金の設定が行え、時間帯別の一時保育の予約受付・来園予定管理の機能を設けた。また、システムの機能を①園児の登降園管理②電子マネーによる決済管理③保護者とのコミュニケーション管理の3つにシンプルにまとめるとともに、同社の単一サーバー・単一データベースで複数のユーザーを管理する『マルチテナント』構成にすることで、サーバーコストと運用コストを抑制し、システム利用料金の低価格化を実現した。

◆**首都圏の保育園で営業展開**

『クラウド型園児管理システム』は『PIPiO（ピピオ）』の名称で、IT化の推進に積極的で、電子マネー（Suica）の普及率が高い首都圏で営業を展開している。

「IT化を意識されていなかった保育園でも前向きに検討いただいているところが増えていく」と営業部の矢野京は手応えを口にする。チーフマネージャーの友森正人も「IT化に国の補助金が支給されることもあり、多くの問い合わせをいただいている。契約も次第に増えつつある」と今後の展開に期待を寄せる。

※文中敬称略

事業者の概要

代表者名	代表取締役 松田 久
設立年月	平成16年4月
所在地	〒702-8006 岡山県岡山市中区藤崎564番の5
TEL/FAX	TEL.086-200-0700 FAX.086-200-0712
U R L	http://www.ryobi-sol.co.jp/
E-mail	hoiku@ryobi-sol.co.jp
資本金額	3,000千円
従業員数	252人
業 種	情報サービス業
事業計画名	小規模保育園向けクラウド型園児管理システム構築によるストックビジネスの拡大

ストック型ビジネスへの取り組み

— 小規模保育園向け『クラウド型園児管理システム』によるストック型ビジネスの推進 —

株式会社両備システムソリューションズ



◆**小規模保育園向けのシステム**

株式会社両備システムソリューションズは企業・施設などのシステム開発と運用、保守管理を手がけ、IT社会における業務の効率化・合理化に貢献している。

同社では利益体質の強化を図るため、請負によるフロー型ビジネスからストック型ビジネスへの転換を進めており、その一環として取り組んだのが50人以下の小規模保育園を対象とした『クラウド型園児管理システム』の開発である。

同社ではすでに保育園向けの『園児管理システム』を開発し、成果を上げている。園児の登園・降園管理や電子マネー「Edu」を活用したキャッシュレス集金、携帯電話による保護者とのコミュニケーションなどの機能を有し、書類や資料の作成、金銭面の事務・集金処理、保育士間の情報共有などが効率的かつスピーディに正確に行えることで、保育士の業務作業の負担の軽減が図れ、保育サービスの質の向上に繋がる。

待機児童の解消に向けた国の施策で、今後、小規模保育園の市場拡大が見込まれることから、同社ではこの層を対象を絞り込んだ『クラウド型園児管理システム』によるIT化の支援を図るとともに、自社のストッ